

国立

国会

図書館

月報

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2018.5



国立国会図書館はじめての一步

「満鉄本」の話

資料の世界の歩き方 変体仮名でめぐる資料あれこれ



685号 2018年5月

国立

国会

図書館

月報

NO. 685
May 2018

CONTENTS

1 敦煌文献

—シルクロードのタイムカプセル

今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から

4 国立国会図書館はじめの一步

12 NDL Bib

書誌データをダウンロードするサービス

14 資料の世界の歩き方 変体仮名でめぐる資料あれこれ⑤

描かれた徒然草

20 「満鉄本」の話

11 館内スコープ

システム担当の苦勞

26 本屋にない本

『幕末・明治・大正期の医療…塩谷の地から
「醫」をさぐる』

27 開館70周年記念展示 本の玉手箱

—国立国会図書館70年の歴史と蔵書—から③

『おほかみ』

28 NDL Topics

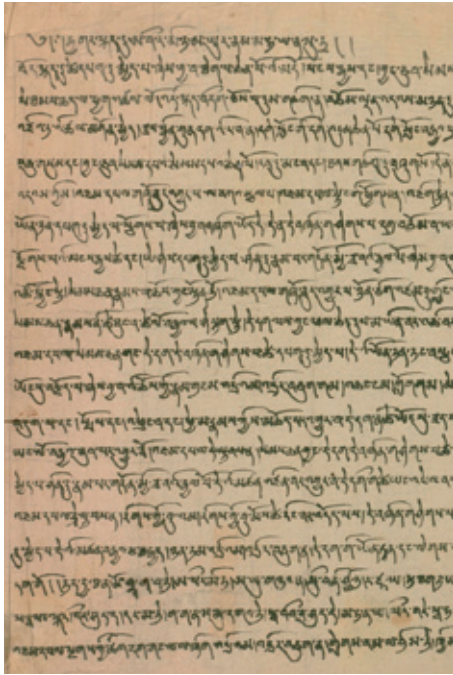


表紙：
「道頓堀」 織田一磨 画
『大阪風景』
大正14（1925）年 16枚 49cm
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1014381/5>
(モノクロ)

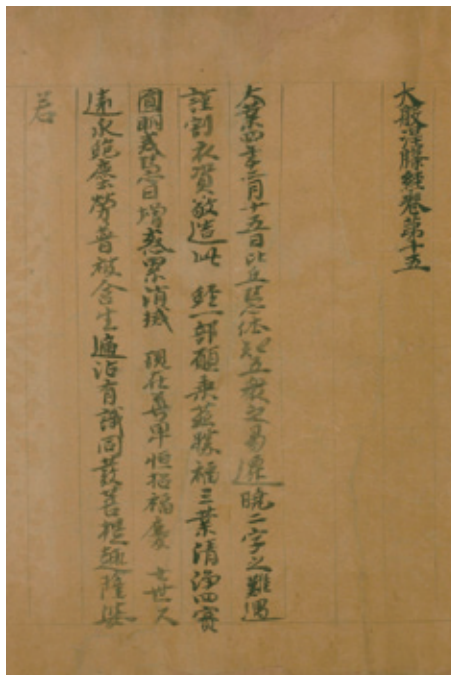
敦煌文献

——シルクロードのタイムカプセル

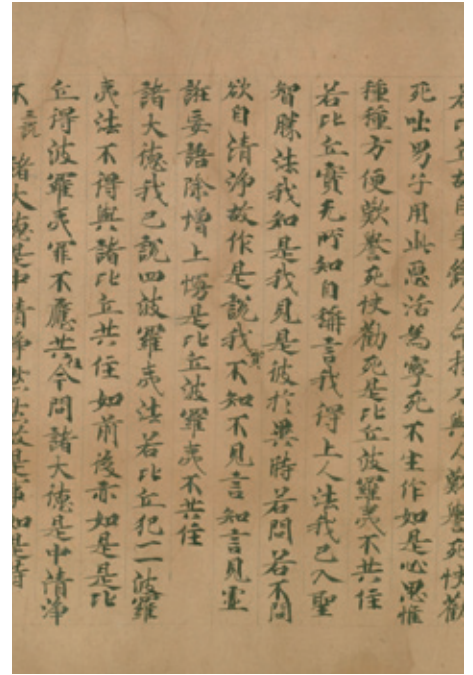
福林 靖博



「西蔵文字写経」(「敦煌等経文」WB32-1 [43])
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2586504>
チベット語「無量寿宗要経」の一部とされる。8～9世紀の吐蕃支配期のものか。



「大般涅槃経卷十五」(「敦煌等経文」WB32-1 [15])
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2586476>
隋大業四(608)年のものとされる。



「四分戒本」(「敦煌等経文」WB32-1 [4])
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2586468>
箱に「五代写四部戒本(中村)不折審定」とある。

シルクロード貿易の要衝として栄えたオアシス都市・敦煌(中国甘肃省)。その近郊に位置する莫高窟の第17窟から数万点もの文物が発見されたのは、1900年のことでした。その多くは、5世紀から、文物が封蔵されたとされる11世紀前半の間に漢語で記された仏教文献ですが、他に、ソグド語や西夏語、ウイグル語といった多様な言語、ゾロアスター教やマニ教、ネストリウス派キリスト教など様々な宗教の文献が含まれています。多種多様なヒトとモノが行き交った当時のシルクロードの様子を今に伝える「タイムカプセル」とも言えるでしょう。

後に「敦煌文献」と呼ばれるこれらの古写本は、その価値にいち早く気付いた英国のオーレル・スタインや仏国のポール・ペリオらによって大量に海外に持ち出され、現在は各国の博物館や図書館に収蔵されています。数年後、当時の清朝政府は残された文献を回収しようとしたものの、すでに多くの文献が国内外に流出し、一部は古書店などを通じて日本にも流入しました。現在も日本で所蔵されている「敦煌文献」の正確な数量は不明ですが、杏雨書屋の760点を筆頭に、

「金録晨夜十方懺殘卷」

(「敦煌等經文」WB32-1 [3])

紙幅や筆跡、紙背に書かれた内容などから、スタインが持ち出した大英博物館所蔵の写本(S-3071)と同一の卷子から剥ぎ取られたものと言われる。

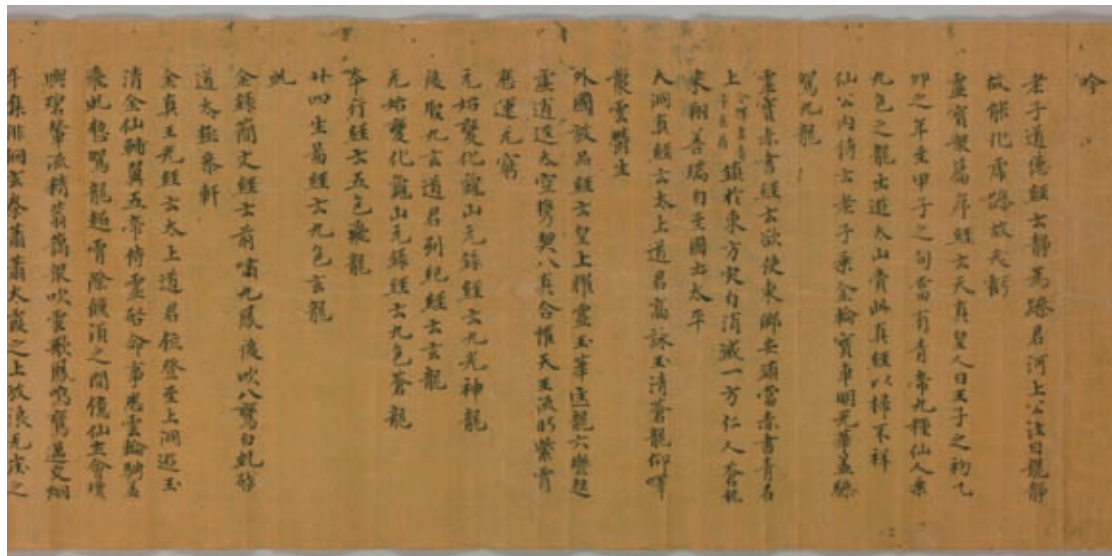
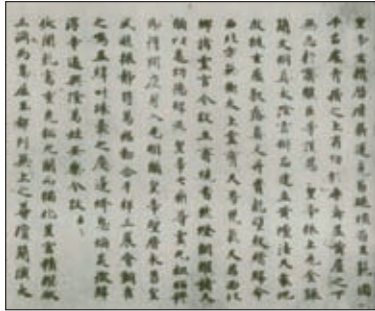
(古典籍資料室でマイクロフィルムによる閲覧となります)

参考:

大英博物館所蔵

「道家為皇帝祈福文(S-3071)」

(『敦煌宝蔵』第25冊所収)



B

「道教叢書殘卷」

(「敦煌等經文」

WB32-1 [30])

<http://dl.ndl.go.jp/>

info.ndljp/pid/2586489

図書館や博物館、大学、寺院、古書店、個人での所蔵が確認されています。

国立国会図書館でも「敦煌文献」とされる写本を約50点、所蔵しています。その大半は、大蔵官僚出身で中国・国民政府財政顧問も務めた濱田徳海氏(1899・1958)のコレクションの一部を、1960年代に専門家のアドバイスも受けながら購入したものです。中国滞在中に「敦煌文献」の蒐集を始めた濱田氏は、帰国後も古書店を通じて蒐集を続けました。中心となるのは漢語やチベット語などで記された仏教文献ですが、道教文献も2点、含まれています。

その一つが「金録晨夜十方懺殘卷」(図A)です。これは、道教が重んじられた唐代に、国家と皇帝の祈福を祈願するために行われた「金籙齋」という儀式のうち、晨夜(朝と夜)に行われた十方礼拝に関する記載の一部分です。敦煌が唐朝の支配下にあった7~8世紀頃のものと考えられるこの写本は、現存する書物には遺されていない唐代の道教儀式の一端を伝えています。ちなみに、もう一点の道教文献「道教叢書殘卷」(図B)も、今は失われて書名のみ伝わる経典『道要』の一



第17窟で調査を行うポール・オーレル・スタインペリオ。



1911年の莫高窟。大谷探検隊撮影(上原芳太郎編『新西域記』所収)。

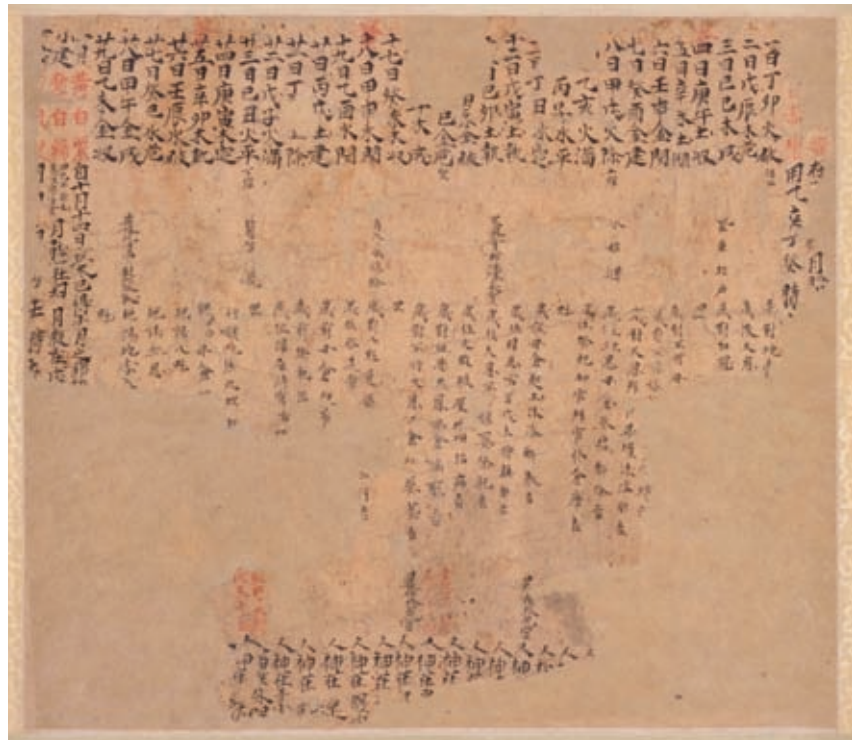
「後周・顕徳二年具注暦日」

(「顕徳二年曆断簡」WA37-9)

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1288388>

元号・月の記載は欠落しているが、行頭に書かれた日にちと干支等の情報から955年9月のものと分かる。なお当時の敦煌は、形式的には華北地方の王朝・後周の服属下にあったものの事実上独立していた、河西帰義軍節度使政権の中心地だった。

C



注 濱田氏旧蔵文献は、国立国会図書館デジタルコレクションに「敦煌等經文」(<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2609546>)として収録されています。なお、当館所蔵の敦煌文献はデジタル化資料またはマイクロフィルムによる閲覧となります。

○参考文献

- 「敦煌写経の收藏について」『国立国会図書館月報』11号、1962年
- 西澤有綜『敦煌曆学綜論—敦煌具注曆日集成』、私家版、2004年
- 神塚淑子「国立国会図書館所蔵の敦煌道教写本」『名古屋大学文学部研究論集(哲学)』59、2013年
- 岩本篤志「国立国会図書館蔵敦煌文献小考」『立正大学人文科学研究所年報』52、2014年
- 高田時雄「日蔵敦煌遺書の来源と真偽問題」『敦煌写本研究年報』9、2015年
- 岩本篤志「濱田徳海日蔵敦煌文献再考—国立国会図書館蔵本と北京伍倫國際拍賣公司本をめぐって」『敦煌写本研究年報』12、2018年(近刊)

部ではないかとされる貴重な写本です。大半を占める宗教関係以外の文献としては、40数点のみ現存する敦煌曆の一つである、「後周・顕徳二年具注曆(日)」(図C)があります。「具注曆(日)」とは、季節や当日の吉凶・禁忌などの注が詳細に付された曆のことで、この写本には顕徳二年、すなわち955年9月1日から29日までの曆が記載されています。もとは宇宙物理学者・新城新蔵氏(1873・1938)の旧蔵書に含まれていたもので、旧帝国図書館時代の1943年に購入しました。

最近では国立国会図書館をはじめ、各地で「敦煌文献」の画像のインターネット公開も進められています。こういった取り組みが、「敦煌文献」研究の更なる進展の一助となればと考えています。

国立国会図書館 はじめの一步

with



東京本館で
書庫の資料を
閲覧したい

インターネットから
国会図書館の資料を
利用したい

2018

教えてよ。



スタート!

まずはいろいろ
試してみよう!
1つ進む

オンラインで
利用者登録を
してみよう

「利用者登録」が
できるみたい。
やってみようかな

あっという間に
登録できたよ。
さっそくログイン!

国立国会図書館 (NDL) が創立 70 周年を迎えた今年 1 月、新しい検索・申込サービス「国立国会図書館オンライン」がはじまりました。これは、NDL を利用する上でもっとも基本的な検索システムです。

今月号では、NDL を活用したいけれど難しそう、と思っているみなさんに向けて、国立国会図書館オンラインを利用した NDL 活用のキホンを、すごろく形式でお伝えします。

オンラインでインターネット限定利用者登録をしておくと、遠隔複写 (p.7) が申し込めるようになります。画面右上の「ログイン」から「新規利用者登録」を選んでみましょう。

* 来館して書庫内の資料を利用する際は、別途利用者登録 (要本人確認書類) が必要になります。(p.8 参照)



よく読んでね



まずは検索してみよう

キーワード

詳細検索



まずはいろいろなキーワードで検索を試してみましょう。調べたいテーマはあるでしょうか。趣味に関すること、仕事に関すること、ずっと気になっていること……、もちろん本のタイトルや、著者の名前でも検索できます。従来の検索に慣れた方は「詳細検索」もどうぞ。

NDL ONLINE

検索のキホン

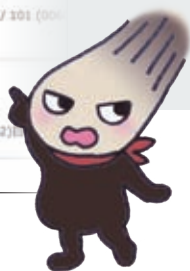
検索結果をみてみよう

NDLは非常に多くの資料を所蔵しているため、検索結果には、本だけではなく、多種多様なものが、古いものから新しいものまで表示されます。

表示されているひとつずつが、本なのか、雑誌内の論文ひとつを指しているのか、ひとつ揃いの雑誌を指すのか。またそれがデジタル化されているのか、紙媒体なのか、CD-ROMなのか、マイクロフィルムなのか……といったことも把握して、必要なものを絞り込むことが、国立国会図書館オンラインを使いこなす鍵となります。画面左の絞り込み機能も試してみましょう。

ログインして、気になる資料を「申込カート」に入れておけば、後で利用を申し込む時に便利です。

使ってみてわからないことや、詳しい使い方を知りたい方は画面右上の「ヘルプ」をご覧ください。



「徒然草」だけで3800件以上？
絞り込まないとね。

見たい資料を申込カートに投入。
1つ進む

資料が見つかりすぎて悩む。
1回休み

今まで気づかなかった資料が
次々見つかる。
2つ進む

「ヘルプ」をじっくり読んでみる。
なるほどなるほど。



インターネットから資料を利用したい

インターネットで何が利用できるの??



国立国会図書館オンラインを利用して、インターネットからNDLの資料を利用する方法は大きく分けて二つ。デジタルコンテンツを直接見る方法と、遠隔複写（有料）を申込む方法があります。いずれも、著作権法等関連法規の範囲内で行うサービスとなることにご注意ください。

気分を変えてスマートフォンで検索してみた。2つ進む

見たい資料にオレンジの雲のボタンが表示されるぞ



国立国会図書館オンラインの検索結果一覧画面



国立国会図書館デジタルコレクション

デジタル >

インターネット公開

「デジタル」で
みてみよう

資料を検索していると、オレンジ色の雲のボタン「デジタル」が表示されることがあります。クリックすると「国立国会図書館デジタルコレクション」につながり、「インターネット公開」の場合は、資料の画像を見ることができます。インターネット上で見られる資料は150万件以上です。

「インターネット公開」ではなく「国立国会図書館限定」の場合は、NDLの館内でのみ見ることができます（p.9参照）。「国立国会図書館内／図書館送信」の場合は、「図書館送信サービス」に加入しているお近くの図書館でも見られるかもしれません。クリックして、リンク先のページから詳しい情報をご確認ください。

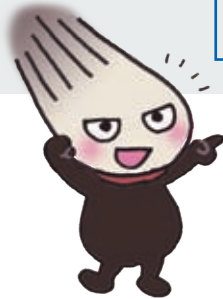
詳細情報と 申込み

検索結果一覧の画面から資料名をクリックすると、資料の詳しい情報の画面に移ります。画面上部の①には書誌情報、②には巻号（〇〇年〇月号、上下巻）やそれを所蔵する場所等の情報、③には、目次などの情報（ない場合もあります）が表示されます。ログインした状態であれば、画面右側の④には、各種申込みのボタンが表示されます。

①

②

③



目次がわかると便利だね。

「遠隔複写」というボタンがあるぞ。郵送でコピーできるのかな

よし、次は実際に国会図書館に行ってみよう

見たい資料が東京本館に所蔵されていることを確認

「遠隔複写」を
申し込んでみよう

遠隔複写



国立国会図書館オンラインにログインしていれば、「遠隔複写」を申し込むことができます。複写は著作権法の範囲内で、複写箇所が特定されていることが必要になります。巻号やページ数のはっきりしている雑誌論文の複写などについて特に便利です。詳しくは「遠隔複写サービス」
<http://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/index.html> をご覧ください。

料金（複写料金、発送事務手数料、送料）がかかります。郵送で複写物と一緒に届く振込票でお支払いいただきます。



複写箇所の入力はこんな感じです



実際に足を運んで 資料を閲覧したい

多くの資料を集め、将来のために保存をしている国立国会図書館では、資料のほとんどは書庫にあり、立ち入ることはできません。国立国会図書館オンラインを利用して、書庫の資料の「閲覧」を申し込むことができます。資料を借りて帰ることはできませんが、著作権法の範囲内で複写サービス（有料）があります。今回は東京本館の図書資料の利用を例に、国立国会図書館の使い方を案内します。

来館にあたって…

- ・ 満18歳以上であれば、どなたでもご入館・ご利用できます。
- ・ 書庫内の資料の閲覧申請をするためには、利用者登録が必要です。入館前に新館入口利用者登録カウンターで利用者登録をお願いいたします。手続きの際には本人確認書類が必要です（オンラインの利用者登録だけでは書庫の資料はご利用いただけません）。
- ・ 開館日・開館時間・各サービスの受付時間の詳細をご確認の上、時間に余裕を持ってご来館ください。専門室の中には、閉室時間やサービスの受付時間が異なるところもありますので、ホームページで各専門室の案内もあわせてご確認ください。

休館日

日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、第3水曜日（資料整理休館日）

利用時間

開館時間 9時30分～19時（土曜日は17時）
 利用者登録 9時～18時30分（土曜日は16時30分）
 資料請求の受付 9時30分～18時（土曜日は16時）
 即日複写の受付 10時～18時（土曜日は16時）

よろしく
願います



ホームページを見て予習。
本人確認書類を持っていこう。
1つ進む

東京本館に
やってきたよ
新館入口に向かいます



東京本館新館

来館上の注意
事項を読んだ。
1つ進む

まずはロッカーに
荷物を預けよう

登録利用者カード



カードをゲット！
次回以降も使えるよ！



利用者登録カウ
ンターで登録利用
者カードを入手

少し館内をうろ
うろ。ほとんどの
本は書庫にあるん
だね

カードをかざして
ゲートから入館！

展示会を
やってみたい。
寄って行こう。
1回休み

家で検索したときには見られなかった「デジタル」資料も、館内であれば画面上で見ることができます。

著作権法の範囲内でプリンアウトもできます。

操作方法は、端末備え付けの説明書をご覧ください。

* デジタル化済の資料原本の「閲覧」申込みはできません。

* 規約上、他の方が利用中で見られない場合もあります。

デジタル >

国立国会図書館限定

「デジタル」で
みてみよう



各種電子情報も閲覧できます

頼んでいた資料が
図書カウンターに
届いたみたい。
取りに行こう

館内限定の
デジタル化資料が
見られたよ。
2つ進む

申し込めました。
資料を書庫から持っ
てくるまで時間がか
かるみたいだ

閲覧



ホールの端末に利用者カードを置き、端末にログインしたら、国立国会図書館オンラインから、書庫の資料の「閲覧」を申込みます。

「閲覧」ボタンを押し、「申込カート」から、「申込み手続き」を完了したら、書庫から資料が届くまで、20-30分お待ちください。

資料が届くと、端末上で資料が届いた旨の通知が表示されます。到着確認用の端末からも確認できます。

* 他の人が利用中の場合など、閲覧できない場合があります。



国立国会図書館オンラインを利用します



到着確認用端末

「閲覧」を
申し込んで
みよう

これが一番基本です



館内の端末に
ログイン！ 資料の
「閲覧」を申し込
んでみるぞ

事前に申込
カートに資料を
入れておいたので
スムーズ。
2つ進む

端末にログインし
ようとするも、パス
ワードを忘れる。
1回休み



※資料は大切に
ご利用ください。

じっくり本を読む。
1回休み

感動! ずっと
読んでみたかった
本が読めたよ!
2つ進む

図書カウンター
で資料を受け取り
ました

よし、一部分
コピーを申し込ん
でみようかな

複写を申込 んでみよう



複写申込書の出力

受取った資料のコピーを申し込むことができます (有料)。
まずは端末の機能で、専用のプリンタから複写申込書を出力
します。用紙に必要事項を記入して、複写カウンターに申し
込みます。コピーはスタッフが行いますので、作業が終わる
までお待ちください。

- * 資料の状態によっては、複写をお断りすることがあります。
- * 複写は著作権法に定められた範囲内で行うことができます。
著作権の保護期間内のものについては、著作物の一部分の
み複写できます。

図書カウンターに
資料を返しました!



カードをかざして
ゲートから退館



ゴール!!

楽しかった!
次は関西館だ!



国立国会図書館オンラインについてのより詳しい
情報は、『参考書誌研究』第 79 号をご覧ください。
<http://navi.ndl.go.jp/bibliography/>

当館の新しいサービスの窓口として国立国会図書館検索・申込オンラインサービス(国立国会図書館オンライン)がオープンしました。旧NDL・OPACと比べてよりシンプルに、そして色の使い方をおさえて洗練されたデザインにしています。特に東京本館と本をモチーフとしたロゴマークが担当のお気に入りです。

今回、国立国会図書館オンラインのデザインを検討するにあたっては、専門のウェブデザイナーの力を借りています。デザイナーとシステム部門、利用者サービス部門の担当者で、短期間に集中していろいろな検討を重ねました。NDL・OPACでのサービスやユーザーフェースとしての課題を調査し、デザインコンセプトを考え、それを踏まえてデザイナーが案を作成します。それに対して図書館員の目線ではなく、利用する一般の方々にはどう見えるか、どうしたらうまく使ってもらえるかを想像して、ああじゃない、こうじゃないと議論して出来上がったのが国立国会図書館オンラインのデザインです。

意見が分かれて1回の会議が長時間に及ぶことも多かったですが、そんな時「それならデザイナー

の意見を活かすようにしよう」ということがよくありました。決して正解が一つに定まるわけではないデザインという作業の中で、いくら議論しても意見が割れるのであれば、さまざまなユーザの視点や感覚を知るデザイナーの意見に耳を傾けることがベターだと考えました。

新しいシステムを作るときに、常に外部のデザイナーにデザインをお願いできるわけではありません。しかし、どうしたら使いやすいシステムになるかということを考え、多くの議論を重ねて作っていく点ではどのシステムもあまり変わりありません。意見が一致するとは限らない多くの議論をどうまとめ形にしていくか。それを決められたスケジュールに間に合わせるよう、全体を取り仕切っていくのがシステム担当の仕事です。

NDL・OPACに馴れていた人ほど、これまでとの違いに戸惑うことも多いのかもしれませんが、国立国会図書館オンラインの画面に親しんでいただくことで、より便利になった使い勝手を感じていただければと思っています。今後とも国立国会図書館オンラインをよろしく願います!

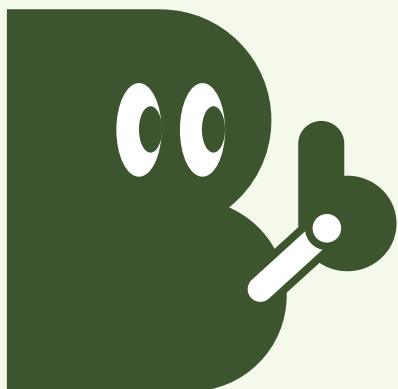
(電子情報サービス課・ア係)

システム担当の苦勞



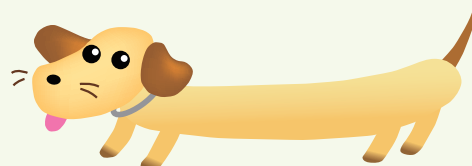
国立国会図書館オンラインのロゴとそのモチーフ
(左は東京本館の外観、右は本をめくる様子)





NDL-Bib

書誌データをダウンロードするサービス



カーネ

今年1月に、国立国会図書館（NDL）は利用者サービスシステムをリニューアルしました。その中で、NDL が作成した書誌データのダウンロードに特化したサービスが生まれました。それが、国立国会図書館書誌提供サービス（略称：NDL-Bib）です。



<https://ndl-bib.ndl.go.jp/>



2017年まで利用されていたNDL-OPACの画面。

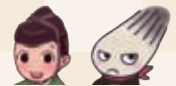
元を辿れば……NDL-OPAC？

NDL-Bib は、実は旧 NDL-OPAC の書誌データダウンロードサービスを継承しています。資料の検索・申込、閲覧など、図書館資料を利用するためのサービスは、国立国会図書館オンラインが担うことになりましたが、従来の機能を活かし、書誌データのダウンロードに特化した利用者サービスシステムとして、新たに NDL-Bib がサービスを開始しています。



描かれた徒然草

藤田 壮介



今回のも前回と似た感じだね。もしかして同じ本？

絵入りの本だから、なんとなく似た感じには見えるけど、前回とは別のものだよ。これは、『徒然草』の文章に合わせて絵を描いたもので、『絵本徒然草』というタイトルが付けられているよ。

絵本にしては、徒然草なんてけっこう渋いじゃん。

徒然草は、鎌倉時代末期に兼好法師によって書かれた随筆だけど、江戸時代の初頭に出版されたことで広く知られるようになって、多くの注釈書なんかも出されるようになったんだ。全部の漢字に振り仮名が付いているわけではなくて、「人」「成」「見」「程」「ね」「大」「人」「木」「本」「此」「け」「少」「覚」「是」、は漢字だけで使われているから気を付けてね。

気を付けて、つて言われてもなあ。なににな……

「かけひのしづくならではつゆをとなふもの……くあかだなにきくもみちなどをりちらしたるさすがにすむ人のあれば成べ」

ふ。今回はマルがないから、どこまでが一つの文か分かりにくいや。でもオイラ、だいたい読めてるんじゃない？

うん、読めてない字は二つだけだし、間違ってるのも一つだけだから大したものだよ。

えっ、読めなかったのは「だ」だけだと思ったのに。どこかで二文字分をまとめて読んじゃった？



徒然草第 11 段の
途中からだよ

復習

5	耳	奈	2
			4
			6
7	多	ハ	3
			8

那 1

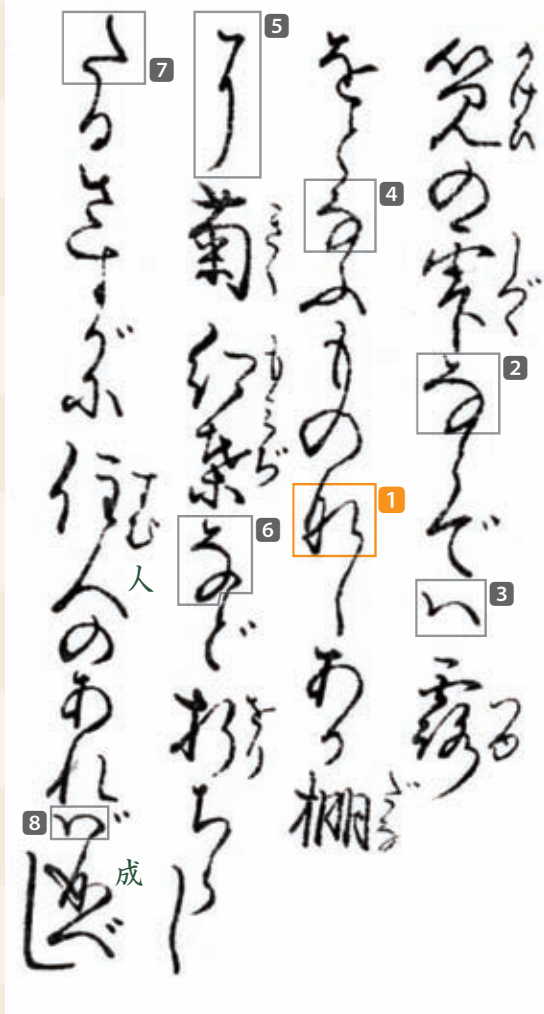
菊
向

う
お

が
し



「し」が「が」を
包んでいるんだね



そうじゃないよ。でも一番最後の「べ」の次を読んでないじゃない。

これってカギカッコみたいな記号じゃないの？

ああ、そういう勘違いか。確かに言われてみると記号にも見えてきたなあ。

でしょ!!

でもこれも一文字で「し」なんだ。神社なんかで奉納物に「か」と「し」が組み合わさったような感じで「魚がし」って書いてあるの見たことないかな？

うーん、見たことないような気がするけど。

意外と見かけるから今度探してみてね。さて、1は漢字の「那」を元にした「な」で、そのすぐ下は「く」と読んでたけど、「し」なんだ。でもこれは上の字からのつながりがあるから、仕方ないことではあるけどね。

読めない字があると、その後にも影響が出ちゃうんだなあ。やっぱり文脈って大事なんだね。

そういうことだね。「つゆをとなふものなし」となって、ここで文が切れるんだ。

字の形としては読める字が多いけど、文章の切れ目とか前回よりだいぶ難しくなってるない？

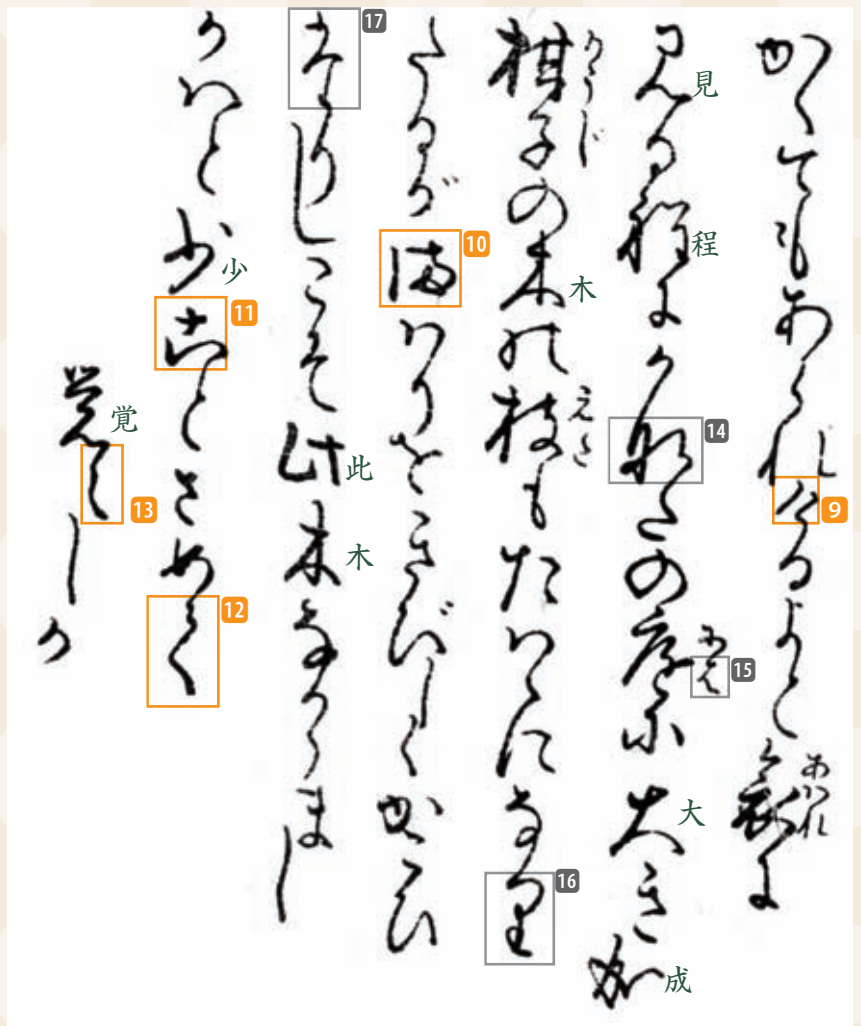
君なら大丈夫だと思ってるからね。それとも、もうあきらめる？

「だんご」なら
すぐ読める



11 古 9 介
12 天 10 満
13 衣

16 里 14 那
17 堂 15 者



あきらめるわけないじゃん！え〜つと……

「かくてもあられ……よとあはれに見る程にかなたの
には大きな成かうじの木のえたもたはくになりたるが
…はりをきびしくかひたりしこそ此木なからましか
はと少…とさめく覚…しか」

どうだ！最後まで読んだよ！



うんうん、よく読めてるじゃない。じゃあ読めなかつ
た字を説明するね。9は「け」という字で、「介」と
いう漢字が元になっているんだ。

「介」が「け」なの？「々」みたいだね。

そうだね。ちなみにカタカナの「ケ」もこの「介」が
元になって出来た字と言われているよ。10は「満」と
いう漢字が元になった「ま」。
崩れていったんだ。



「シ(さんずい)」って一本の縦棒みたいになるんだね。

崩れた形から元の漢字を推測する時には部首から考え
るとうまくいくことも多いから、部首がどう崩れるの
かも、そうやってついでに覚えていくと良いね。さて、
11は「こ」だよ。あと「とさめく」と読んでいた12の
「く」は「天」が崩れた「て」。「天」が元になった「て」
の字は、
て、く
みたいにいくつかの形が
あるんだ。

もう、ややこしいなあ。「天」には見えない字もあるし。
あつ、そうだ、11の「こ」の元の漢字を言い忘れてたね。

みかんは誰にも
渡さないぞ！



算の雫ならではつゆをとなふもの
なし。闕伽棚に菊・紅葉など折り
ちらしたる、さすがに住む人のあ
ればなるべし。
かくてもあられけるよとあはれに
見るほどに、かなたの庭に大きな
柑子の木の、枝もたはゝになり
たるが、まはりをきびしくかこひ
たりしこそ、この木なからましか
はと少ことさめて覚えしか。

まはりをきびしく
かこひたり

ことさめる



こっちはなんとなく元の漢字が分かるんじゃない？

「こ」ってことは……そうか、「古」じゃない？

正解！たまにお団子やさんとかで見ることあるよね。

お団子、オイラはみたらしが好きだよ！ あんこは
ちよつと苦手。

おやつは後にして、最後の読めてない字にいくよ。
ちよつと分かりにくいと思うけど、**13**は「え」の字な
んだ。いま使っているひらがなと同じで、「衣」とい
う漢字が元になっているんだけど、これはすごく崩れ
ているパターンだから難しいね。衣 ↓ え ↓
みみたいな崩れ方でなんだけどね。

なんか全然形が違うね。よし、今日はこれでおしまい！
でしょ？

そのつもりだったけど、物足りないみたいだから、やつ
ぱりもうちよつと読もうか？

えー!! もういいよ。

まあまあ、せっかく徒然草の本なんだし、最初のところ
だけでも読んでみてよ。

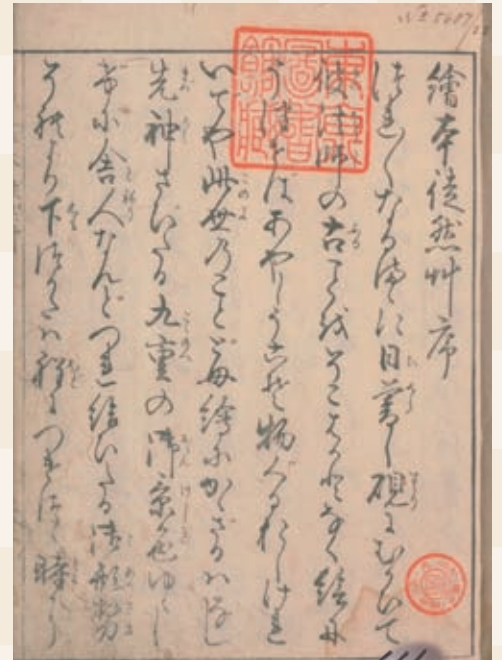
「つれづれなるままに」ってやつ？ 最初のところは覚
えてるから文字が分からなくても読めるよ。

それじゃあ冒頭の三行分を読んでごらん。

えーつと、最初の字は分からないけど、徒然草なんだ
からどうせ「つ」でしょ。

つれづれなるままに日暮らし
硯にむかひて彼の法師のふる
ことをそこはかとなく絵にう
つせば、あやしうこそ物ぐる
おしけれ

ほしきくから体は日暮し硯にむかひて
 彼法師の古くはつてつれづれなるままに日暮らし
 うつせばあやしうこそ物ぐるおしけれ



徒然草の冒頭??



「つれづれなるままにひくらしすつりにむかひてこころ…」あれつ、二行目はどうみても「こころ」じゃなさそうだな。

気付いた? この部分は、徒然草の序の段をもとにして、ちよつと文章を変えているから、そのままじゃないんだよ。一行目はそのままだったからよく読めていたね。最初の「つ」は元の漢字が「徒」で徒↓に崩れてできた字だよ。

徒↓に

だまされたつ! 簡単だと思ったのに。

まあまあそう言わないで、あと二行分だから素直に読んだらいいじゃない。そうそう、言い忘れていたけど、「絵」と「物」は漢字だから気を付けてね。

しようがない、読むしかないか。「かのほうしのふるへとをそこはかとなく絵にう…せばあやしうこそ物ぐるおしけれ」かな。「そこはかとなく」物ぐるおしけれも徒然草と同じだね。

うんうん、**21**も原文と同じだから分かると思うよ。

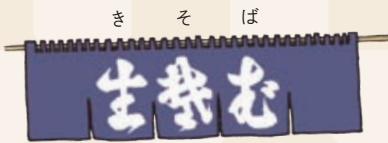
原文は「あやしうこそ物ぐるおしけれ」だから、そうか、「そ」か。「生そば」の「そ」だ!

そのとおり。**21**の元になった漢字は「楚」だよ。**19**の「そ」は、いまの平仮名と同じく「曾」が元になっているんだけど、最後の曲線が逆向きになっているね。そして**20**は「つ」で、これは「津」が元になって出来た字なんだ。さっきの「満」と同じで、さんずいが一本の縦棒になっているよね。

でも**18**の「つ(徒)」はさんずいじゃなくて「イ(ぎょうにんべん)」なのに同じ形に見えるよ。

18 徒 **19** 曾
20 津 **21** 楚

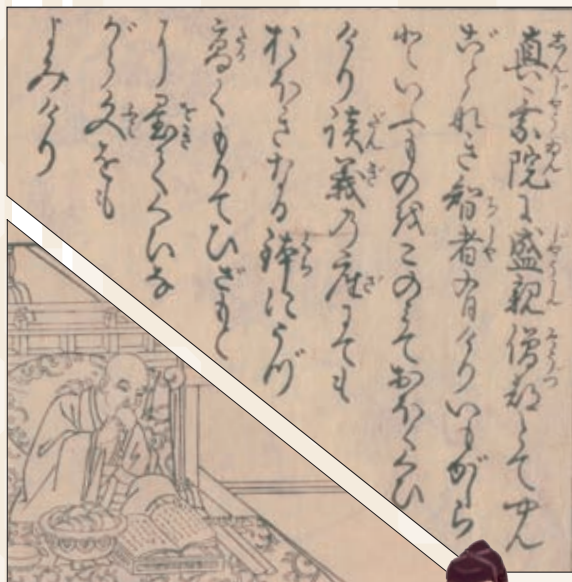
22 連 **23** 満 **24** 越
25 者 **26** 登 **27** 世



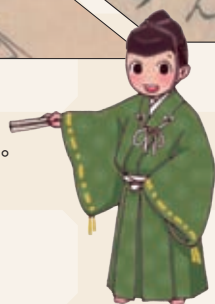
今月の宿題

(徒然草第 60 段より)

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2534221/27>



「芋頭」は
里芋のことだよ。



(絵・正保五年)

4 月号宿題の答え

よもすから物おもふ比は明やらぬ
ねやのひまさへつれなかりけり

二つの仮名が合わさった文字

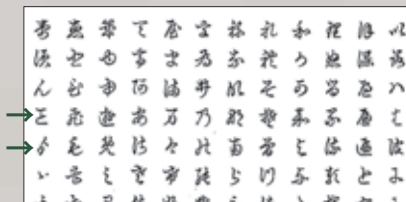


29 の「こと」は、二つの仮名文字を組み合わせたもので、一つの文字でありながら、二音分を表わしています。よく使われる組み合わせを一つの文字にまとめたもので、明治・大正期の日本語の文法書にも、「合略仮名」などとして紹介されています。

明治前期には、これらに対応する活字も作成されており、明治 18 年の『活字紋様見本』には、「と」と「ふ」(より。「よ」と「り」を組み合わせたもの) が収録されています。

このような文字はカタカナにもありました。明治 16 年の官報第 1 号でも使用されています。

これらの文字は、現在では目にする機会はほとんどありませんが、実は「㇏」と「㇏」は Unicode にも収録されており、多くのパソコンで表示することができます。



『活字紋様見本』印刷局活版部 (明治 18 年)
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/853858>

而ノ (シテ)
然レ (トモ) 氏 (下モ)

目的ヲ達スルコトヲ得ハ (コト)

伺ノ通ナルハ (トキ)

『官報』第 1 号 (明治 16 年 7 月 2 日)
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2943205>

※「㇏」は漢字の「事」が崩れてできた文字という見解もあります。

そうなんだよ、文字が省略されてくると、どうしても結果的に形が似てきちゃうことがあるね。ほかにも「イ(にんべん)」とか、時には「言(こんべん)」も同じような形になることがあるよ。

じゃあ「侍」も「詩」も全部同じ形になっちゃわない?

確かに書き方によっては見た目が同じになっちゃうことはあるよ。だから、漢字を読む時にも、やっぱり文脈が大事になってくるんだ。

きちんと書き分けてくれればいいのになあ。でもこれで今度こそ終わりだね。

ちよつと待って、君が「へと」と読んでいた 29 のところ、実はこの部分がまとめて「文字で、「こと」って読むんだ。??」一文字で「こと」って読むの? どういうこと?

仮名なのに一文字が二つの音を表わすっていうのは確かに不思議だよ。これは「こ」と「と」を組み合わせたもので、合略仮名と呼ばれたりするものの一つなんだ。

そんなものもあるの? これも最初に教えてよ

ごめんごめん。でもこれで今日の分は本当におしまい。

じゃあお団子の時間?

お団子じゃなくて芋頭はどう? 「川」の字が元になった「つ」と漢字の「有」以外は読めるはずだよ。

宿題はいやだ〜! 早くお団子食べたい!

「満鉄本」の話

A tale of materials collected by the South Manchuria Railway company

書庫入室のためICカード認証をし、エレベーターから降りると、紙の香りもラベルも新しい、全国から納本していただいた図書が並べられています。さらに書架と書架の間をすり抜け、非常階段を降り、柱に取り付けられたスイッチに触れると、そこだけ時間が止まったような場所が、蛍光灯に照らし出されます。

「満鉄本」とは、南満洲鉄道株式会社東亜経済調査局（以下、「満鉄」「東亜経済調査局」）が所蔵していた資料のうち、70年前、創立されたばかりの国立国会図書館の蔵書となった資料の総称（通称）です。現在も東京本館の書庫に収められ、静かに利用に供されています。



吉原
努



東亜経済調査局とは

東亜経調は、1908（明治41）年麻布区狸穴町にあった満鉄東京支社内、「東亜ノ経済、交通及商工業ニ関シ必要ナル一切ノ世界経済的材料ヲ蒐集シ併セテ此等事項ニ関スル諸般ノ諮問ニ応スルヲ目的」とした調査組織として設立されました。設立に先立つ1907（明治40）年、満鉄本社には調査部が設置され、現地の不動産権に関する慣習調査等をしたことが知られています。東亜経調は東京におかれた組織で、国内外の図書、雑誌、新聞の収集と分類整理を行うとともに、それを背景とした文献調査、情報発信、人材育成に役立てられました。

東亜経調の発案者である初代満鉄総裁の後藤新平（1857-1929）は医師の出身で内務省勤務の後、台湾総督府民政長官として辣腕を振るった人物として知られます。東亜経調を設立した理由については、ひとつには自身の科学的なものへの関心から、また、アメリカによる中国の門戸開放政策をかわす狙いがあったからとされます³⁾。なお、1906（明治39）年には、日本銀行に調査局が、「調査の野村」こと野村

證券の前身の会社にも調査部門が設置されています。

ある講演会の場で、後藤は次のように語っています。「巴里のクレデー、リオネーと云う大銀行は（中略）其処に調査局がありまして日本の公債のことで経済のこと興行上のこと杯何んでも分かるやうになつて居ります、（中略）プロフエツソル、チースが独逸経済雑誌に書いた、此論文を見ましていつか経済調査局如きものを拵えたい」。後藤は、満鉄理事の岡松参太郎（1871-1921）を局長に据え、ダンチツヒ工科大学の教授であったチース（*Thies, 1870-1941*）を主任とし、東亜経調を発足させました⁶⁾。後藤が言及したチースによる論文『大興業ニ於ケル経済調査部』⁷⁾では、大企業が独立した調査部門をもつことの重要性を論じています。

東亜経調の定員や予算を見てみると大正時代中頃から増加しており、大正9年度末の時点で資料課、編輯課の2課に26名（兼任を除く）、同年度の支出は7万5千円でした⁸⁾。ちなみにのちに東亜経調の指導的立場となる大川周明（1886-1957）が採用されたのは

この時期です⁹⁾。

東亜経調は、満鉄に設置されてから、財団法人となった時期を経て、満鉄のいわゆる「大調査部」に組み込まれた後、終戦後に閉鎖されるまで約40年間にわたりその活動を続けます。

資料の収集、整理

東亜経調の特徴である文献調査を行うには、資料の収集が重要であり、また資料は利用しやすい形で分類・整理されていきました。『調査屋流転』¹⁰⁾を基に、昭和初期の状況を再現してみましよう。

まずは資料の収集について。国内刊行物は指定の書店が毎週運び込む中から選択して購入、海外の出版物のうち、雑誌や新聞は年間契約を結び、図書は取次店のカタログから注文をしています。

新着資料はただちに分類カード化されます。図書は分類、書名、著者名と3種のカード目録を作成。雑誌・新聞は主要な記事に分類を付し、索引のカードを作成します。新聞は索引のカード作成後、記事を切り抜いて保存していました。



岡松 参太郎
(1871-1921)

熊本県出身。1894年帝国大学法科大学を卒業。欧州留学後、1899年京都帝国大学法科大学教授。1901年法学博士。臨時台湾旧慣調査会委員として、『台湾私法』の編纂に長く携わりました。1907年から大学在職のまま満鉄理事となりました。『註釈民法理由』、『無過失損害賠償責任論』などの著書があります。

肖像：『帝国法曹大観』帝国法曹大観編纂会 1915
(<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/950474>)

カール・チース
(Karl Thiess, 1870-1941)

ドイツ東部の小都市(Löbejün)に生まれ、1889年からベルリンとハイデルベルクに学んで博士号を取得し、1900年からハンブルク=アメリカ郵船株式会社(HAPAG)で調査業務に従事したとされます。来日するまでは、現在のポーランドにあったダンチツヒ工科大学の教授でした

蔵書印、蔵書票の例



"Documents complémentaires cités dans le Traité de paix avec l'Allemagne signé à Versailles, le 28 juin, 1919." <請求記号 特6-0438> だ円形の印に書き込まれた登録番号が、財団時代の登録番号に引き継がれています。

"Principes d'économie politique." <請求記号 特9-046> いくつかの印が押された標題紙の例。上の丸印が財団時代の蔵書印、中央は財団時代の登録番号、下側右が財団時代の配架記号。表紙裏にある蔵書票は、財団時代より前に使用されていたもの。(登録番号が変わっていません。)



"Les séances de Hariri." <請求記号 KM26-6> から。モーリツ文庫蔵書票。植物文様の下にアラビア語で「この本は南マンチュリア鉄道会社極東経済調査局に属する」とある。

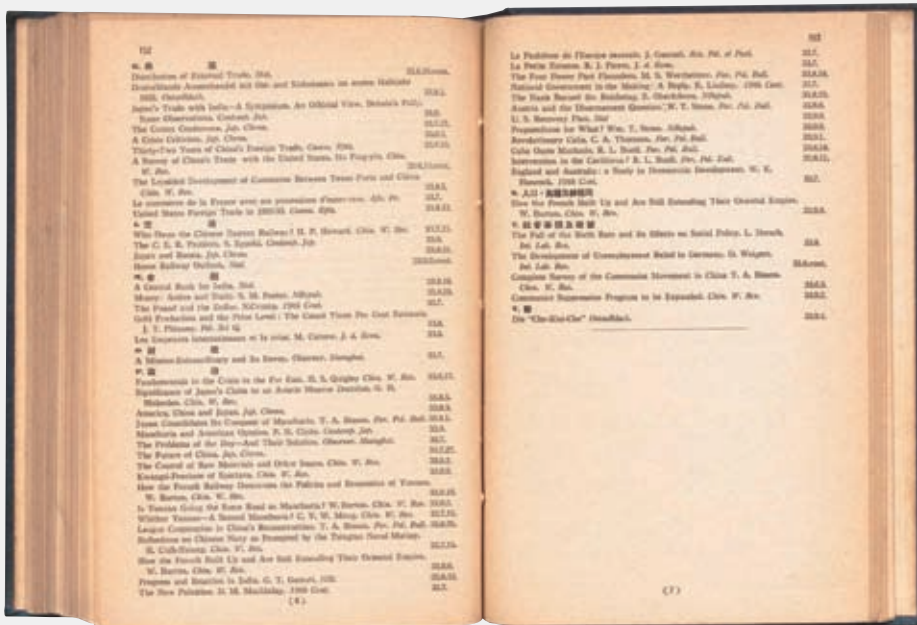
疎開

東亜経調は明治末期に三菱第13号館に移転した後、丸ビル、東洋拓殖ビ

こうした資料整理法は、蔵書構築のためだけでなく、新人局員の訓練にもなりました。1人当たり和洋雑誌20冊以上と洋新聞を2種類くらい受け持つて索引を採る作業は、新人局員にとってはなかなか負担になったようです。

このように集められ、整理された資料は昭和初期の時点で、邦文図書約1万4500冊、華文図書約6500冊、邦文雑誌、華文雑誌それぞれ約100タイトル、露文資料を除く、欧文図書約9千冊、欧文雑誌約200タイトルに及びました。

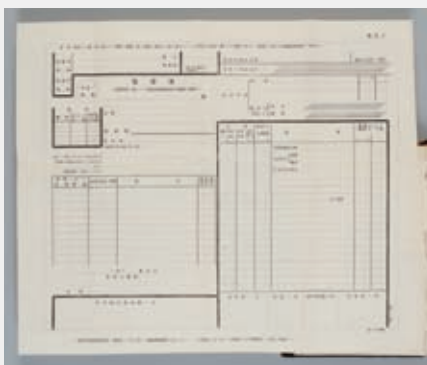
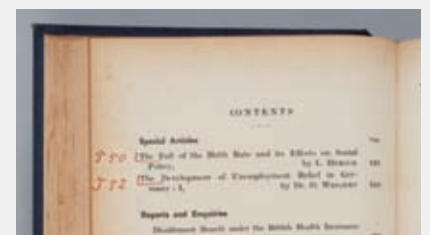
このほか、東亜経調による収集資料で現在でも知られているものとして、モーリツ文庫と呼ばれるイスラーム関係文献があります。特徴ある蔵書票が表紙裏に貼りこまれているため、他の蔵書と区別できます。イスラーム研究家の井筒俊彦が大学助手のときによく利用し、処女作の序文に東亜経調への謝辞を記していることから、その貴重さがわかります。



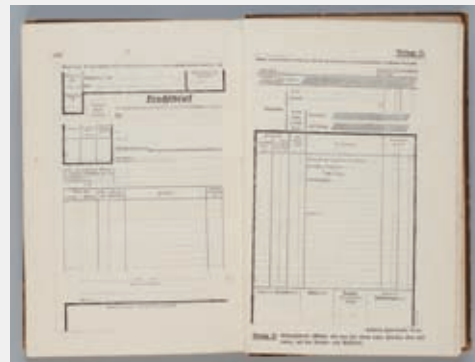
分類・整理作業の痕跡

『新著資料目録』東亜経済調査局 1933年 10月号<請求記号 029.6-To3472s>から。雑誌の主要な記事を分類ごとに記載している。

なお、「International Labour Review.」<請求記号 Z 51-A 234> 1933年 8月号の表紙裏(下写真)には、記事名の頭に手書きで、「T50」「T52」と書き込まれており、目録上の分類と対応しています。こうした各資料をもとに、目録が編纂されていたことがわかります。



調査資料として刊行された『独逸鉄道運送規程』
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/796916>



収集資料である「Eisenbahn-Verkehrsordnung vom 23. Dezember 1908 gültig vom 1. April 1909.」
 <請求記号 特 6-0249>

調査資料の例

東亜経調は文献調査の成果として、『経済資料』、『新亜細亜』といった雑誌や、多数の調査資料、翻訳書を刊行しました。元となった資料と、成果物の両方が、当館の蔵書となっている例もありません。

ルと、次々に移転したのですが、太平洋戦争開戦後の空襲を避けるため、1944年に疎開しました。町田市の玉川学園と、福島市の福島高等商業学校(現在は福島県立美術館と福島県立図書館があります。)の2か所に分かれています。玉川学園に移したのは、常時利用される和書約4万冊、製本済和雑誌約5千冊でした。玉川学園は敷地が広がったこともあり、工場や他の研究施設も疎開していたようです。¹⁴⁾

福島には4月から7月までかけて、和書約3万冊、洋書約2万冊、和洋製本済雑誌約1万冊、漢籍約3千冊、モータリツ文庫約2500冊を疎開させました。1945年に福島市郊外の信夫山で地下工場建設が始まり、文字摺観音近くにあった醤油蔵に蔵書を1か月かけて再疎開させたとところで終戦になりました。ポツダム宣言受諾にともなう閉鎖機関令により、東亜経調は満鉄とともに解散します。連合軍総司令部(以下、GHQ/SCAP)の関係者が直後に進駐し、日本語資料や漢籍、モータリツ文庫の大半に加え、カード目録、図書原簿まで接收したといわれています。¹⁵⁾

満鉄本のゆくえ

終戦と日本国憲法の公布を受けて、帝国議会では国政調査機能を高めるため、議会図書館設置の機運が高まりました。当時の学識経験者からの請願には、満鉄等閉鎖機関の所蔵図書を購入を求める文言が見られます⁽¹⁶⁾。第1回国会(会期：1947年5月20日から12月9日)から衆参両院に設置された図書館運営委員会(当時)を中心にして、直前に制定されていた「国会図書館法」を見直すための作業が行われました。

同年6月21日、GHQ/SCAP民政局のジャスティン・ウィリアムズ国会課長(Justin Williams, 1906-2002)が衆議院の松田正一委員長と参議院の羽仁五郎委員長を呼びよせ、「満鉄の所蔵の本」を国会が引き受けるよう相談を持ちかけました。ウィリアムズ課長は「国会法」制定に大きな影響を及ぼした人物として知られます。当初は大蔵省が「満鉄の所蔵の本」を引き受ける予定でしたが、大蔵省を担当したGHQ/SCAP経済科学局を含めた交渉ののち、5日後の26日に両院合同協議会が開かれ、大蔵省は引き受けを撤回しました⁽¹⁷⁾。

同じ時期には中西寅夫旧蔵書の購

入やロックフェラー財団からの寄贈本の受け入れ、帝国図書館、東洋文庫、静嘉堂文庫の国会移管が話題に上っています。図書購入費には備品費1600万円のうち1千万円を計上⁽¹⁸⁾。図書購入にあたり、衆参それぞれの図書館運営委員会委員長と理事を評価委員とし、関係予算は昭和22年度補正予算に含まれました。こうして満鉄本は、国立国会図書館へ渡ることが決定します。

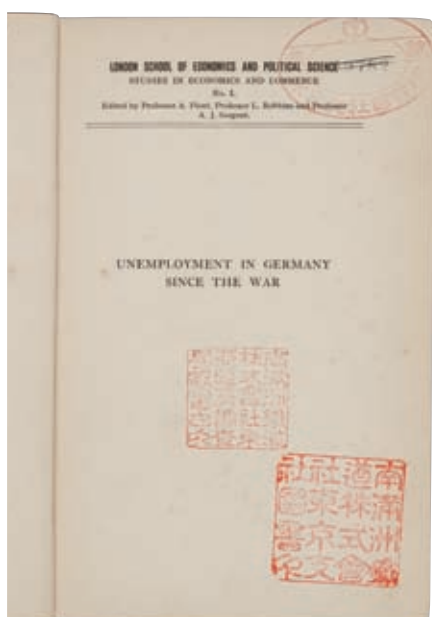
なお、満鉄本の総冊数と評価額算定のため、福島県に出張して作業にあたった当館元職員の回想が残っています。インフレーションが始まっていたのに旧規程での旅費しか与えられず、終戦直後で食糧も少なく、1週間もの間大変な苦労をしたそうです⁽¹⁹⁾。

国立国会図書館の蔵書として

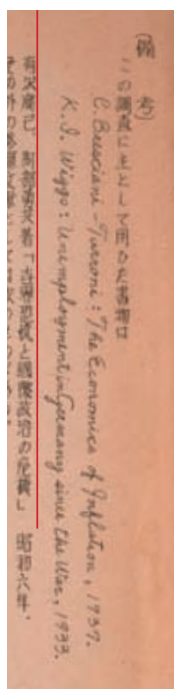
1948年開館直後の当館の施設は、国会議事堂にあったかつての貴族院図書館、衆議院図書館に加えて、赤坂離宮を借り上げただけでした。(支部図書館を除く)上野の帝国図書館を改称した国立図書館の国会移管と、道



資料が疎開していた文字摺観音周辺。
(2017年8月筆者撮影)



"Unemployment in Germany since the war."
<請求記号 特 17-0760>



国立国会図書館の蔵書として活用された例

たとえば、『インフレーション収束後の経済復興と失業問題：第一次大戦後のドイツについて』(国立国会図書館調査立法考査局 調立資料 B36 1949)の末尾には、「この調査に主として用いた書物」として満鉄本である"Unemployment in Germany since the war."が挙げられている。

路改修前の国会議事堂前に三宅坂分室が建設されたのは翌年のことです。これらの施設に、満鉄本も分散して配置されました。

当時のパンフレット『国立国会図書館利用のてびき』⁽²⁰⁾によると、三宅坂分室の社会科学閲覧室(座席数18)の洋書約1万9800冊の大半を満鉄本が占め、同じ三宅坂分室の法律政治図書館(座席数18)に3700冊、赤坂本館の中国資料閲覧室(座席数24)に約730冊置かれていたことがわかります。

受け入れた総冊数は、以下のとおりです。⁽²¹⁾

「在福島」洋書1万8406冊、洋雑誌4993冊

「在東京」洋書3405冊、和書7723冊、洋雑誌110冊、洋新聞114冊、ほかに昭和10年代の満鉄、各種団体、官庁資料パンフレット。

購入金額は、閉鎖機関整理委員会によると、439万2800円でした。⁽²²⁾

それぞれの資料は、当館においてDC分類(数字のみ)やNDLC分類(アルファベットと数字の組み合わせ)で

整理され、または「特函」(特6から特27)の請求記号を付与して整理されました。それは先述のような配架先と整理した時期の違いによるようです。

東京本館の開館以降、「特函」の満鉄本は本館書庫2層に別置されています。見渡すと、かつての東亜経調が特定の主題に偏ることなく、ひろく収集を行っていたことがわかります。⁽²³⁾

おわりに

初めて書庫で「満鉄本」を目にしたとき、私は強い印象を受け、どのような来歴をもつ資料なのかを調べ続けてきました。

先述の『調査屋流転』の著者である枝吉勇は、東京帝国大学卒業後、満鉄に入社して東亜経調と本社調査部で調査業務に携わり、東亜経調の局長だった中島宗一と共に当館調査及び立法考査局の基礎を築きました。(中島局長と枝吉次長)当館に採用された元満鉄社員の例はこれに限りません。資料を元に客観的に調査をすることの大切さが、当館の今にもつながっていると見えそうです。

(1) 当館が所蔵する、いわゆる「満鉄文書」については、白岩一彦「国立国会図書館所蔵満鉄文書 概要と主要文書案内」『参考書誌研究』2008年10月、同「国立国会図書館所蔵満鉄資料目録 秘密扱い資料の部」『参考書誌研究』2011年3月(<http://nval.ndl.go.jp/bibliography/post.php>)を参照。
(2) 『東亜経済調査局設立趣旨』1908年11月、水沢市立後藤新平記念館「後藤新平文書:デジタル版」R-70、27-7<請求記号 YH253-J213>(音楽映像資料室で利用可能)
(3) 鶴見祐輔『後藤新平』第2巻、後藤新平伯伝記編集会1937年<請求記号 685-145>
(4) 『ふみくら 早稲田大学図書館報』1999年12月(早稲田大学図書館ホームページで利用可能。http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index07.html)、井関九郎『大日本博士録 第1巻』発展社出版部1921年 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/946116>
(5) 『普魯西王国休職ダンテヒ工科大学教授鐵道院雇チース、カール叙勲ノ件』明治44年(叙勲裁可書明治44年叙勲巻4 外国人1) (アジア歴史資料センターで利用可能。<https://www.jacar.go.jp/>)
(6) 後藤新平『日本植民政策一斑』拓殖新報社1921年 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/980879>
(7) 『岡松太郎文書』<請求記号 YE-J3>(図書別室で利用可能)に収録。『大興業ニ於ケル経済調査部』(R-31、D13-5)のほか『巴里「クレディ、リナー」銀行/経済調査局』(R-31、D13-6)等も参照。『経済資料』<請求記号 YA-942>2巻4号にも、再編集した『巴里クレディ、リナー銀行経済調査局』が掲載されている。
(8) 原覚天『現代アジア研究成立史論』勁草書房1984年<請求記号 GE41-45>、『東亜経済調査局概況』東亜経済調査局1921年 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/959805>
(9) 『満鉄に生きて』の著書がある伊藤武雄(1895-1984)『露和辞典』を編集した、嶋野三郎(1893-1982)らもこの時

期に採用されている。
(10) 枝吉勇(当館元職員)『調査屋流転』私家版、1981年<請求記号 GK44-33>
(11) 『東亜経済調査局所蔵邦華文図書目録』1937年 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1123049>、『東亜経済調査局所蔵図書目録英文之部』1931年<請求記号 Y994-J7000>から、分類上で重出されたタイトルを除いた概数。
(12) 中村孝志「私説満鉄東亜経済調査局」(『南方文化』1986年11月<請求記号 Z8-1060>)によると、モーリツ(Bernhard Moritz)の旧蔵書と、ブリル書店(E.J.Brill)が作成した目録から、フェラン(Gabriel Ferrand)の旧蔵書を選択して購入したもの。当館にわずかに引き継がれた資料には、タペリ『預言者と諸王の歴史』<請求記号 GA32-21>、ハリリー『マカーマート』<請求記号 KM26-6>、ヤークト『地理学辞典』<請求記号 G63-11>といった、東洋学を背景とした近代ヨーロッパの研究者による校訂を経た復刻版を含む(日本語表記は、『コンサイス外国人名事典』第3版、三省堂1999年<請求記号 GK2-G9>による)。
(13) 井筒俊彦『アラビア思想史』博文館1941年<請求記号 132.26-199ウ>
(14) 『玉川学園五十年史』玉川学園1980年<請求記号 FB22-1042>
(15) 大内直之(当館元職員)「満鉄資料の接収」『現代の図書館』1986年6月<請求記号 Z21-8>
(16) 『議会図書館設置/請願』(請願第29号)『第90回帝国議会貴族院請願委員会議事速記録』第6号、1946年9月13日(帝国議会会議録検索システムで閲覧可能。<http://teikokugikai-i.ndl.go.jp/>)
(17) 『第1回国会衆議院図書館運営委員会議録』第2号、1947年7月12日(国会会議録システムで閲覧可能。<http://kokkai.ndl.go.jp/>)
(18) 『第1回国会衆議院図書館運営委員会議録』第4号、1947年10月3日(国会会議録システムで閲覧可能。)、なお、

人件費を主とした「昭和22年一般会計予算補正」(第7号)は、衆参両院の予算委員会と本会議での審議を経て、同年11月29日に成立しました。
(19) 「国立国会図書館草創期の収集」『図書館研究シリーズ』第5号、1961年、<請求記号 Z21-127>
(20) 『国立国会図書館利用のてびき』春秋会1954年<請求記号 O16.11-Ko5482k>
(21) 『図書館協力セミナー 昭和62年度 2』国立国会図書館1987年、<請求記号 UL21-E3>
(22) 『閉鎖機関とその特殊清算』在外活動関係閉鎖機関特殊清算事務所1954年、第2編 在外活動関係閉鎖機関第2章 開発関係閉鎖機関 第2節 中国本土及び満洲における開発機関<請求記号 332.1-H418h>
(23) 特6法制、特7政治行政、特8財政、特9経済産業一般、特10農林漁業、特11鉱業、特12工業、特13交通・通信、特14商業貿易、特15金融、特16企業経営会計、特17植民・人口・食料、特18社会、特19歴史、特20地理・人類学、特21教育哲学・その他文化及び思想、特22宗教、特23双書、特24統計、特25年鑑・年報、特26辞書・目録・人名録、特27言語及び雑(軍事科学、文化団体)。「蔵書構成の実態調査およびその評価計画について」(『図書館研究シリーズ』第16号、1974年 <請求記号 Z21-127>)による。

参考文献

千代由利「国立国会図書館の満鉄資料」『びぶろず』1984年6月
飯田和子「“くずのようなもの”から」『国立国会図書館月報』1987年3月
鍋田潤「国立国会図書館所蔵本蔵書印 東亜経済調査局」『国立国会図書館月報』1998年5月



本屋に

ない

本

タイトル中の「醫」は、「医」の旧

字体である。一説によると、古代の医師が、隠された場所に呪矢を収め、酒を用いつつ、エイという掛け声をかけて病魔をはらう様子を表している。編者は、この字を用いることで医師と医療行為の両方の意をタイトルにこめかけたとのことだ。

本書は、幕末・明治・大正期を中心に、栃木県北部の塩谷の医療史をまとめたものである。戦後期については既に刊行されているが、『塩谷郡市医師会史・新生医師会半世紀の歩み』(NGSHEI18)、その編集に携わった医師が、それ以前の年代の歴史についても編纂する必要性を感じ、十数年もの歳月をかけて本書を制作すること

となった。

本書は四部構成をとり、さまざまな切り口から塩谷の医療史をひもといている。第一部では、世界と日本の医学の歴史、医学の重要テーマであった感染症の歴史、江戸・明治の医療事情、病院の歴史について書かれている。第二部では、塩谷の人々、なかでも見過ごされがちな子供や娼妓などが実際に受けていた医療、漢方医療、大正・昭和前期の医療がまとめられている。第三部では、江戸時代の喜連川藩の医療や明治期の喜連川病院といった歴史的医療機関の成り立ちや診療状況などが掲載されている。第四部には、明治期の塩谷の医師四十数名分の列伝が書かれている。患者数や診療記録などの各

種データも各部に掲載されていて参考になる。

タイトルの「醫」で意図されているとおり、本書には、当時の塩谷の医師一人一人の人となりや施した治療についてのエピソードが多数盛り込まれている。試行錯誤した医師たちの様子が臨場感をもって伝わってくる。例えば、スペインかぜ(インフルエンザ)の流行について書かれている箇所では、どの家も患者であふれ、往診先でない家からも次々と乞われ、医師が一日じゅう自転車や雪道を進んで往診しなければならなかった様子や、原因もわからない中、当時最先端の血清療法が試されたことなどが詳しく書かれている。地方の医師たちが、限られた情報と治



(標題紙)

幕末・明治・大正期の医療 塩谷の地から「醫」をさぐる

塩谷郡市医師会史編纂委員会 編
2016.3 500p+1枚 22cm
<請求記号 EG213-L553>

療法しかない中、感染症とたたかい、目の前の患者を何とか助けようと努力した姿が、豊富なエピソードを通じ垣間見える。地元で根ざした医師による執筆だからこそ、患者に寄り添う細やかな記録といえるだろう。

いささか硬いテーマな上に五百ページもある大部な本なので、手に取ることをためらうかもしれないが、安心してほしい。本書を「味わうために」とする別紙が付けられており、「読みどころ」や「面白く読める攻略方法」が紹介されている。このマニュアルの指しを参考にすれば、話の流れを追いやすく、医療や歴史に関する事前の知識があまり無い人でも興味深く読み進められるだろう。

(吉井^{よしい}伶^{れい}奈^な)

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

開館70周年
記念展示

開館70周年を記念して、幅広い蔵書の中から魅力ある様々な本を紹介する展示会を、今秋に行います。本誌では、会期までの間、主な展示資料を少しずつお見せします。

本の玉手箱

— 国立国会図書館 70 年の歴史と蔵書 — から ③

ヤギと狼!?



和服?

実は、あの本です。

おほかみ グリム 原著 上田万年 訳 明治22 (1889) 年 <当館請求記号 特67-390>

オオカミも子ヤギも和服を着て、日本家屋にいますが、実は「おおかみと7匹のこやぎ」なのです。明治、大正期には、西洋のお話を取り入れるにあたって、登場人物の名前などを日本風に変える「翻案」が盛んに行われていました。和服以外は妙にリアルな子ヤギたちのほか、「三太郎」や「愛ちゃん」も皆さんのおいでをお待ちしています。(「三太郎」や「愛ちゃん」が何の翻案かは、会場でご確認ください!)



過去を読み、未来を読む。

東京会場 国立国会図書館東京本館 新館展示室

10.18 (木) — 11.24 (土)

関西会場 国立国会図書館関西館 大会議室

11.30 (金) — 12.22 (土)

休館日、展示替え等の最新情報は、ホームページ>国立国会図書館開館70周年記念のページでご確認ください。

図書、古典籍等を「国立国会図書館デジタルコレクション」に追加しました

国立国会図書館は、デジタル化資料約5,800点を「国立国会図書館デジタルコレクション」に追加しました。

「国立国会図書館デジタルコレクション」で提供するデジタル化資料の総数は、今回追加した資料を含め、約266万点です。

国立国会図書館デジタルコレクション (<http://dl.ndl.go.jp/>) に追加した資料 (3月14日)

コレクション	追加数	公開*	
図書	約500点	館内限定	
古典籍資料	約400点	インターネット (一部館内限定)	
憲政資料	約1,800点	インターネット (一部館内限定)	
日本占領関係資料	連合国最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)文書	約1,300点	インターネット (一部館内限定)
	極東軍文書	約400点	館内限定
プランゲ文庫	図書	約1,300点	館内限定
録音・映像関係資料	録音資料	約100点	館内限定

* 本文をインターネット公開していない資料についても、書誌事項(タイトル、著者等)はインターネットから検索できます。

利用者アンケートご協力をお願い

国立国会図書館が提供する各種のサービスを改善するために、次のとおりアンケートを実施しています。

一般利用者アンケート

国立国会図書館のサービスを利用されている方々を対象としたウェブアンケートです。通年で実施します。以下のアンケートページから皆様のご意見をお聞かせください。アンケートページでは、過去のアンケート結果、分析などもご覧いただけます。

○アンケートページ

<http://www.ndl.go.jp/aboutus/enquete/index.html>
国立国会図書館ホームページ▽国立国会図書館について▽利用者アンケート

○実施期間 平成31年3月29日(金)まで

図書館・関係機関へのアンケート

国内の図書館等を対象としたウェブアンケートです。機関として利用者登録している図書館等のうち、2,600館に対して、6月末に依頼状をお送りする予定です。ご協力をお願いいたします。

このほか、個別のコンテンツやサービスについての各種アンケートの実施も予定しています。

○問合せ先

国立国会図書館 総務部 企画課 評価係
電子メール hyokan@ndl.go.jp

調査資料『岐路に立つEU』及び『自動運転技術の動向と課題』を刊行しました。

調査及び立法考査局が平成29年度に行った調査プロジェクトの成果として、総合調査報告書『岐路に立つEU』及び科学技術に関する調査プロジェクト報告書『自動運転技術の動向と課題』を刊行しました。

『岐路に立つEU』は、欧州連合(European Union: EU)に焦点を当てました。これまでの歴史全体が危機の連続であるともいわれるEUですが、2016年に実施された国民投票の結果を受けて英国が離脱することとなり、新たな局面を迎えています。多くの加盟国で難民受入れ政策や緊縮財政政策等への反発が高まっており、フランス、ドイツ、イタリア等においてEUからの離脱を主張する政治勢力の動きが注目を集めています。域内に矛盾や不協和音を抱えたEUは、これらの危機を克服し、求心力を回復することができるとの『岐路に立つEU』では、このような問題意識に基づき、制度面を中心にこれまでのEUの動きを整理するとともに、今後の我が国との関係の在り方についても考察しました。英国のEU離脱を軸に、財政規律、欧州難民危機、ポピュリズム、労働者の国際移動、共通安全保障防衛政策、共通農業政策等をテーマとする計11編の調査報告及び欧州議会調査局(European Parliamentary Research Service: EPRS)による寄稿コラム計2編を収録しています。

『自動運転技術の動向と課題』は、自動運転技術に着目しました。人工知能(Artificial Intelligence: AI)やセンサー技術の急速な進化に伴い、自動運転車の実用化が現実性を帯びてきています。その一方で、自動

NDL Topics

運転車の普及に向けては、自動走行機能の誤作動といった技術的課題だけでなく、事故発生時の原因究明や責任の所在などに対する懸念といった法的、社会的、倫理的課題も指摘されているところです。『自動運転技術の動向と課題』では、これらの課題を認識しつつ、調査を進めました。自動運転の社会的受容性に向けた取組、人工知能（AI）活用の課題、関連産業の動向、道路交通法や交通事故等に関連する法的課題等をテーマとする計7編の調査報告及び計2編のコラムを収録しています。

これらの報告書を含め、国立国会図書館が国政審議の参考資料として作成した刊行物は、ホームページで全文をご覧いただけます。是非、ご活用ください。



<http://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2018/index.html>

新刊案内

外国の立法 立法情報・翻訳・解説 第275号

カナダ犯罪被害者権利章典
フランスにおける選挙運動費用及び政治資金の規制
— 政党及び選挙候補者の会計上の義務を強化する —
2017年3月6日の法律第2017・286号

ドイツにおける自動運転車の公道通行

— 第8次道路交通法改正 —

ドイツの連邦情報庁法

— 対外情報機関の活動の法的根拠 —

韓国の自動車利用活性化法

中国の国歌法



A4 107頁 季刊 1,800円 (税別)
ISBN 978-4-87582-812-9
発売 日本図書館協会

レファレンス 806号

オバマ政権下の米国の気候変動対策

国税と地方税の相互依存関係についてどのように考えるか

— 地方税支払額の「国税からの所得控除」と租税外部効果 —

フランス地方税財政の近年の動向

— 住居税の見直し等をめぐって —

イタリアの国家予算制度

— 近年の制度改革を反映して —



A4 94頁 月刊 1,000円 (税別)
発売 日本図書館協会

カレントアウェアネス 335号

△小特集・図書館と資金調達▽

公共図書館への継続的な寄付の事例

— 寄付は地域の図書館を元気にする —

県立長野図書館の改革事業とネーミングライツ制度の導入

クラウドファンディングによる図書館の資金調達

「地方創生レファレンス大賞」3年間の歩み

ミャンマーにおける図書館文化財の保護活動

熊本大学附属図書館「熊本地震ライブラリ」の取り組みについて

「欧州オープンサイエンスクラウド」をめぐる動向

△動向レビュー▽

スカンジナビアにおける難民・庇護希望者に対する公共図書館サービス

FLA Library Reference Modelの概要



A4 32頁 季刊 400円 (税別)
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ
日本図書館協会
〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14
電話 03(3523)0812

参考書誌研究 第79号

特集：国立国会図書館オンラインの使い方
新たな利用の窓口

— 国立国会図書館オンライン —

国立国会図書館オンラインの目次データを使用した資料の検索方法

NDLplusの概要について

— 書誌データのダウンロードに特化したサービス —

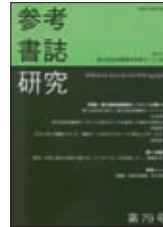
△調べ方案内▽

経済・社会に関する統計の調べ方

— インターネットを活用して —

△研究ノート▽

「蘭書」発見記補遺



A5 口絵10頁、本文115頁 不定期刊

本誌の内容は当館ホームページにも掲載しています。<http://nnavi.ndl.go.jp/bibliography/>

国立国会図書館を志望される皆様向けに YouTubeで動画を公開しています

国立国会図書館で働くことに関心がある方向けにYouTube上の当館公式チャンネルで動画を公開中です。同動画には、館長からのメッセージのほか、当館の業務風景も多数収録しています。ぜひご覧ください。

○国立国会図書館を志望される皆様へ【採用広報動画】

<https://www.youtube.com/watch?v=skbA3SG5kI>

おもな人事

△辞職▽

平成30年3月31日付け

専門調査員 調査及び立法考査局経済産業調査室主任

益田 安良

専門調査員 調査及び立法考査局海外立法情報調査室主任

原田 圭子

△異動▽ ※（ ）内は前職

平成30年4月1日付け

専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室主任

(専門調査員 調査及び立法考査局議事官庁資料調査室主任)

山田 敏之

専門調査員 調査及び立法考査局外交防衛調査室主任

(専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室主任)

佐藤 毅彦

専門調査員 調査及び立法考査局長 (調査及び立法考査局長 収集書誌部長兼務)

大曲 薫

専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室付 (利用者サービス部長)

石渡 裕子

専門調査員 調査及び立法考査局議事官庁資料調査室主任 (専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室付)

渡邊 幸秀

専門調査員 調査及び立法考査局憲法調査室主任、政治議会調査室主任兼務 (専門調査員 調査及び立法考査局政治議会調査室主任)

山田 邦夫

専門調査員 調査及び立法考査局海外立法情報調査室主任 (専門調査員 調査及び立法考査局外交防衛調査室主任)

廣瀬 淳子

専門調査員 調査及び立法考査局経済産業調査室主任

岩本 康志

(東京大学大学院公共政策学連携研究部教授)

利用者サービス部長 (関西館長)

片山 信子

収集書誌部長 (収集書誌部副部長 収集・書誌調整課長事務取扱)

山地 康志

関西館長 (国際子ども図書館長)

本吉 理彦

国際子ども図書館長 (調査及び立法考査局次長)

寺倉 憲一

司書監 総務部付 (司書監 収集書誌部付)

大寫 薫

司書監 総務部付、国際子ども図書館企画協力課長兼務 (電子情報部副部長、電子情報企画課長事務取扱)

川鍋 道子

調査及び立法考査局次長 (主幹 調査及び立法考査局社会労働調査室付)

小池 拓自

主幹 調査及び立法考査局総合調査室付 (主幹 調査及び立法考査局農林環境調査室付、農林環境課長事務取扱)

樋口 修

収集書誌部副部長 (司書監 総務部付)

堀 純子

利用者サービス部副部長 (司書監 利用者サービス部付)

遊佐 啓之

主幹 調査及び立法考査局総合調査室付、調査企画課長事務取扱 (主幹 調査及び立法考査局総合調査室付、国会レファレンス課長事務取扱)

森田 倫子

主幹 調査及び立法考査局総合調査室付 (総務部支部図書館・協力課長)

相原 信也

主幹 調査及び立法考査局社会労働調査室付 (主幹 調査及び立法考査局総合調査室付)

鈴木 滋

司書監 収集書誌部付 (国際子ども図書館企画協力課長)

佐藤 従子

電子情報部副部長、電子情報企画課長事務取扱 (総務部人事課長)

木藤 淳子

5

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2 0 1 8 . 5

NO.685

MAY
2018

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Dunhuang manuscripts: Time capsules from the Silk Road
- 04 NDL Online: The first step for using the NDL
- 12 NDL-Bib: Download service for bibliographic data
Fostering awareness through library materials and effective cooperation with the NDL
- 14 Browsing library materials — Reading Japanese written in variant kana 5
An illustrated version of *Tsurezuregusa*
- 20 A tale of materials collected by the South Manchuria Railway company
- 11 <Tidbits of information on NDL>
Building a new information system
- 26 <Books not commercially available>
Bakumatsu/meiji/taishoki no iryo: Shioya no chi kara “i” o saguru
- 27 From the 70-anniversary Commemorative Exhibition — A Treasure Box of Books:
The History of the National Diet Library and Its Collections
Ookami
- 28 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

平成30年5月号 (No.685)

平成30年5月1日発行

発行所 国立国会図書館

編集責任者 三浦良文

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<http://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) >刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2 0 1 8 . 5

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

リサイクル適性[Ⓐ]
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。